

## (Q7) 物に対するこだわりが強い

同じおもちゃで遊び続けています。どうして飽きないのだろうか不思議に感じるくらいです。それも、順番に並べたり、眺めたりするだけです。他の遊びに誘っても、すぐに元の遊びに戻ってしまいます。

### どうしてそうなるの？

〇見慣れないおもちゃや絵本に不安を覚え、いつも同じものであることで気持ちが落ち着き、安心できるようにしている。それにより、満足感や充実感を味わっている。(見慣れないおもちゃや絵本に興味をもちにくい。)

### どうすればよいの？例え

#### ①楽しいと思える遊びの環境をつくり、子どもの他の遊びへの興味・関心を広げていく

- 〇大人が遊びに入り、子どもが、気に入っているおもちゃやそれに類似したおもちゃなどを介して、興味・関心を広げていきます。
- 〇子どもの気持ちの安定を大切に進めます。
- 〇環境に新しいものを徐々に加えていくようにします。
- 〇子どもの反応を見ながら、少しずつ新しいおもちゃや絵本への関心を引き出すようにしていきます。

#### ②「こだわり」そのものに注目し過ぎない

- 〇「こだわり」そのものをなくそうと考えるのではなく、対人関係や言葉など、全体の発達を高めながら改善していけるように配慮することが大切です。



## (Q8) ひらがなが読めない

同年齢の友達と比べて、発達や行動について「どうして？」と心配になることがあります。特に気になるのが、ひらがなの読み書き。

小学校入学前に少しでもと考え、熱心にいろいろなことに取り組んでしまい、そのことが、逆に子どもの負担となってしまうようで……。

### どうしてそうなるの？

#### ①年中児の場合

- 「発達の個人差」である可能性があるので、無理をせず、様子を確認していく。

#### ②年長児の場合

- 「文字の習得が困難」という可能性と、「文字や言葉に興味・関心をもたせるような働きかけが足りない」という可能性の両方が考えられる。気になるようであれば、早めに専門機関へ相談する。

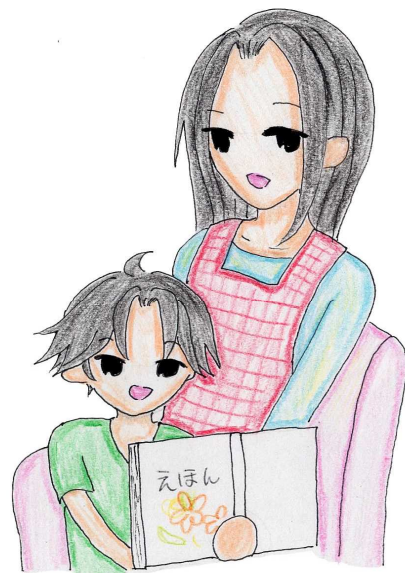
### どうすればよいの？例え

#### ①年中児の場合

- 子どもが興味のある内容の本と一緒に読み、文字に慣れていくようにします。

#### ②年長児の場合

- 文字や言葉には意味があり、使いたいと思わせるような環境や場面を用意します。(ひらがな表など)
- 子どもの興味・関心のあるものを活用して教えたり、一緒に本を読んだりして、進んで学べるように工夫します。



(Q9) のりを付ける作業が嫌いで、大人の手をとって  
やらせようとする

のりを使った作業が大嫌いで、自分から触ろうとしない子どもがいます。  
のり付けの必要に迫られた場合には、大人の手をとり、指にのりをつけよう  
とします。

どうしてそうなるの？

①肌の感覚がとても敏感

○のりはもとより、粘土や砂場遊びが嫌いな子どもは、製作や遊び自体の  
楽しさよりも、のりのベタベタした手ざわりや、砂のザラザラした手ざわり  
が苦手、つまり、肌の感覚がとても敏感な場合が多い。

②においに敏感

○肌の感覚だけではなく、においが関連している場合も考えられる。

どうすればよいの？例え

①何の、どのような感触が嫌いなのか確認する

- 反対に、何の、どのような感触が好きなのかを確認します。
- 好きな感触を活用できないか検討します。

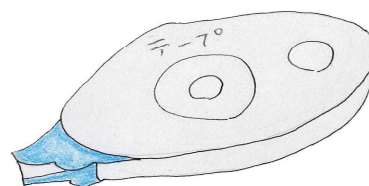
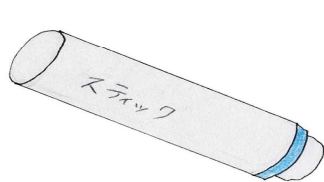
②大人が楽しんで作業を行い、興味を引く

- 決して無理はさせないようにします。
- 興味を引くために作業の一部を一緒に行い、少しずつ誘ってみる  
ことが大切です。

③スティックのりやテープのり等、代替が利くものであれば  
活用を検討する

- まずは、「自分でできてうれしかった」「やって楽しかった」等の  
思いがもてるように支援します。

代替品を活用する



## (Q10) 出かける前の支度が遅い

出かける前の支度に、時間がかかります。また、着替えに、なかなかとりかかれずに、裸で飛び回っていたり、持ち物が揃わず、バックの中身が散乱していたり・・・。

### どうしてそうなるの？

- ①着替えの経験が不足（未習得）
- ②他のことに注意が向いてしまう

どうすればよいの？ 例え

#### ①何ができて、何ができないのかを把握

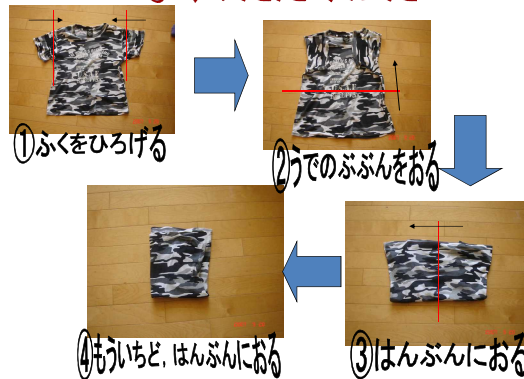
○ボタンはめができないのであれば、その部分はマジックテープにしたり、大きなボタンにしたりしておき、まずは着替えが一人でできるようにします（できたら、たくさんほめるように配慮します）。ボタンはめは、後日、少しずつ練習するようにします。

#### ②環境の調整を図る

- 持ち物は前日に用意しておくようにします。
- 着替えの場所を決めておき、注意を引くようなものは置かないようにするか、カーテンなどで隠しておきます。
- 絵カードなどで、着替えの順番を示すようにします。
- 持ち物も、絵カードなどで、一覧にして確認しやすくします。



#### ふくのたたみかた



## (Q11) 初めての場所や活動が苦手

初めての場所へ行ったり、初めての行事などに参加したりしようとすると、身がすくんで動けなくなったり、パニックを起こしてしまったりします。

### どうしてそうなるの？

#### ①初めてのことへの不安の高さ

○発達障害のある子どもは、そこでどんなことをするのか、自分が何をするのか、どのくらいやるのか、といったさまざまな事に対して、イメージがもてないと不安が強くなり、物事に取り組めなくなってしまう。

#### ②嫌な経験からくる怖さ

○以前参加したことのある行事で、何か良くない経験をすると、その後、似たような行事に参加することを嫌がることもある。

### どうすればよいの？例え

#### ①見通しをもたせる

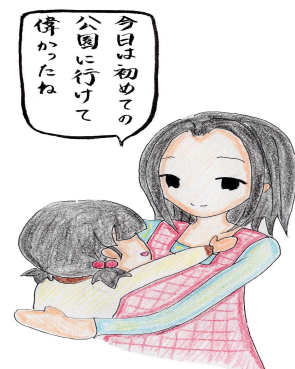
- 事前に、写真や絵などを使用して、具体的に行く場所やそこであることを説明します。
- 紙芝居で、「今日の行事（例えば：お誕生日会）はこんなことをするよ。」と伝えます。
- 写真やイラストでシナリオを作り、事前に説明しておきます。
- いつも行っている好きな活動を取り入れます。
- 話し合いで、本人の参加できそうなところを決めておきます。

#### ②無理強いはいらない

○最初は見るだけにして、体験は少しずつ行います。

#### ③よくできたことをほめる

○初めての場所で過ごせたり、初めての活動に参加できたりした時には、よかったことを具体的にほめます。子どもの好きなシールなどを使って、やる気をもたせることも大切です。



## (Q12) 目を離すといなくなってしまう

散歩や買い物に出かけると、いつの間にか、どこかに行ってしまうて迷子になっていたり、勝手に親から離れて、平気で遊んでいたります。また、急に駆け出したりすることもあるので、交通事故等も心配です。

### どうしてそうなるの？

#### ①自分の好きな物を見つけた

○自分の好きな物を見つけ、「行ってみたい」と思うやいなや「とっさに体が動いてしまった」。戻ろうとしても、「元の場所がわからない」で困っていると、また好きな物を見つけ、体が動いてしまった。

#### ②自分の嫌いな物を見てしまった

○嫌なのか、または怖いのか、とっさに「逃げたい・離れたい」という行動を起こしてしまう。戻ろうと思うが、その物が嫌で、または、怖くて戻れない。

### どうすればよいの？例え

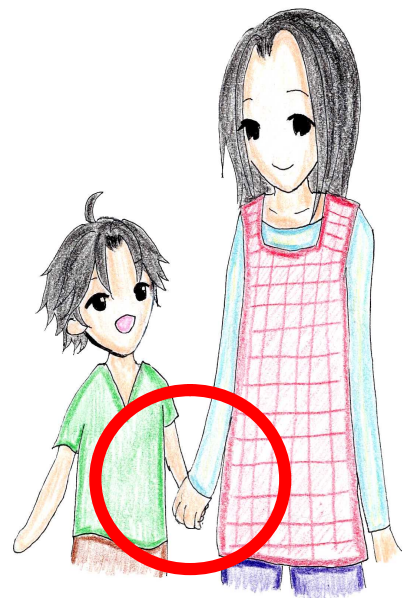
#### ①道路やスーパー等では、手をつないで行動することを約束

○「今日は、人が多いでしょ。迷子になったら見つけられないよね。困るでしょ。だから手をつないでいようね。」と理由を添えてわかりやすく伝え、約束します。

○良くできた場合には、よくできたこと、できるようになったことを具体的にほめて子ども自身が気をつけられるようにしておきます。

#### ②どこかに行きたい時には、大人に承認を求めてから行くという習慣化を図る

○手を離す前に、「どこに行きたいのか」「何をするのか」を必ず言って、「いいよ」と言われたら行ってもいいことを繰り返し教えます。



(Q13) 予定が変わると不安になったり、パニックになったりする

急にお客さんが来たり、電話がかかってきたりして、予定どおり出かけられなくなる等、日程変更をせざるを得ないことはよくあることです。しかし、そんなことがあると大騒ぎします。時にはパニックになって泣き叫んだり、動くことすらできなくなったりすることもあります。

どうしてそうなるの？

- ①見通しが立たない状況では、これらから何が起こるのか分からず不安だけが強くなる
- ②何をどのように対応すればよいのかを想像することが難しい
- ③状況の変化による臨機応変的な対応が苦手

どうすればよいの？例えは

①基本的には、変更が生じないように努力する

○やむを得ず急な予定の変更が生じた場合には、子どもの様子を確認し、混乱が大きい場合には無理強いはしないようにします。

②できるだけ事前に伝える

○「予定が変わることもあるよ」と繰り返し伝えておきます。  
○予定の変更が生じた時は、できるだけ早い段階で、子どもにそのことを伝えるようにします。その際、できれば絵や図を用いて、どのように行動するかを具体的に伝えるようにします。

